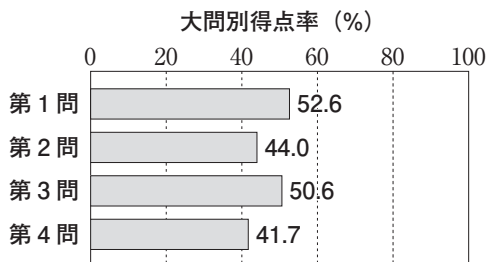
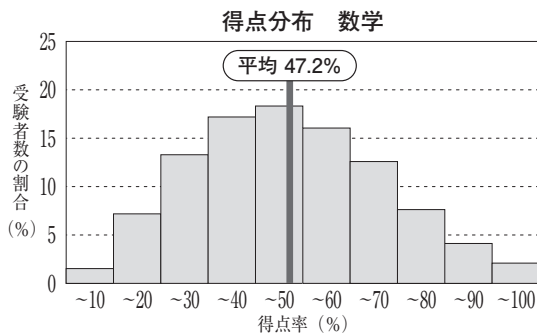


# 数学 [高1生部門]

## 高校3年間の土台となる基礎を確立させよう

### I. 全体講評

全国統一高校生テスト（高1生部門）数学の出来はどうだっただろうか。今回の全国統一高校生テスト（高1生部門）では、学習の進捗を鑑みて数学Ⅰ（数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量）、数学Ⅱ（場合の数と確率）から、2017年度大学入学共通テスト試行調査（プレテスト）と同様のマークシート形式＋一部記述式にて出題を行った。今回のような問題は、現段階では難しいと感じた人も多いだろうが、今後の自分の努力が次の共通テスト対応高1模試での得点の伸びとなってそのまま表れるようになってきている。次回の共通テスト対応高1模試（2019年2月10日（日）実施）も必ず受験し、目標得点を達成してほしい。今回の結果を受け、次の共通テスト対応高1模試に向けてやるべきことは、当然一人ひとり違うはずだ。得点が異なる人ではやるべきことが異なってくるし、たとえ得点が同じでも間違えた問題によって勉強の仕方は違ってくる。以下の学習アドバイスや合格指導解説授業を参考に、自分のプランにあった学習方法を学び取ろう。



### II. 学習アドバイス

#### ◆早期に数学Ⅰ・Ⅱを完成させよう

数学Ⅰ・Ⅱについては、そろそろ一通り学んだ頃だろうが、数学Ⅲ・Ⅳの学習に入る前に数学Ⅰ・Ⅱについては完成させておこう。数学Ⅲ・Ⅳの分野は、数学Ⅰ・Ⅱの内容がベースになっているものも多い。曖昧な部分は、理解できるまで徹底的に復習するようにしよう。

#### ◆基礎を整理しよう

教科書の例題レベルが完全に理解できたら、それをノートに整理しておこう。理解が曖昧なままならすぐに、また理解が完全でも長い間放置しておく、忘れてしまう可能性が高い。今後、様々な分野の知識を結び付けていくときにも整理したノートは役に立つはずだ。

#### ◆さらに先取り学習を

数学Ⅲ・Ⅳの先取り学習をしておこう。この先どのような勉強をするのか、全体像をつかむことで、学習効果は飛躍的にアップする。ただし、数学Ⅲ・Ⅳは数学Ⅰ・Ⅱがベースであることも忘れずに。

今回の全国統一高校生テスト（高1生部門）で、自分の弱点がある程度ははっきりしたと思うが、結果に一喜一憂するのではなく、学習のペースメーカーとしていくために、次回2月10日実施の共通テスト対応高1模試も引き続き必ず受験しよう。また、分野ごとのより詳しい得意不得意を知りたい人は、12月9日の「大学合格基礎力判定テスト」を受験するとよい。この模試をほぼ3ヶ月に一度受けることで「基礎」の定着度を正確に計ることができる。

さらに、今回の全国統一高校生テスト（高1生部門）に対する合格指導解説授業では、問題に対する解説はもちろん、今後の学習方針についても、明確に述べている。解説を読んだだけでは理解できない部分がある人は必ず、計画的に学習を進めていきたい人も是非、合格指導解説授業を受けよう。